

書に親しみ、そして楽しむもう

産経ジュニア書道コンクールは全国の幼・小・中・高校生を対象に、書写、書道の普及・発展を目的に開催しています。
この書道展を通じて青少年の皆さんが日本の伝統文化に触れ、親しむことで「健全な心」を養ってほしいと願っております。

平成元年(1989年)に始まった「産経ジュニア書道コンクール」は今回で31回目を迎えました。日本全国、海外からご応募いただいた作品は9545点、新しい令和の時代にふさわしいフレッシュな作品が揃いました。審査会は、6月16日(日)に東京都美術館で30人の審査員によって厳正に行われ、中学生以下の部は最高賞の文部科学大臣賞から佳作まで、高校生の部は、産経新聞社賞から入選までが決定しました。応募作品はすべて会場に展示されます(前後期の掛け替えあり)。

この産経新聞ジュニア書道コンクール特別版では、A部門(中学生以下：半切1/4、高校生：半切)、B部門(半紙)ごとの特別賞の作品、氏名、中学生以下の推薦、特選受賞者、高校生の秀逸受賞者の氏名を掲載しています。令和2年のジュニア展の募集要項は11月にできる予定です。公式サイト(www.sankei-shokai.jp)、事務局(☎03-3275-8902)などでご確認のうえ、ふるってご参加下さい。

新しい令和の時代を担う人に



審査長
高橋 照弘

元号が改まり、令和の時代が始まりました。本年は令和最初の記念すべき展覧会です。主催の産経新聞社、文部科学省を始めとする、後援の皆さん、並びに全国各地において書道文化の普及発展に情熱的貢献をされている先生方の絶大なご支援のもとで開催されることを、スタッフ一同より感謝し御礼申し上げます。本年の応募総数は9545点。おかげさまで応募数は毎年増え続けています。審査員は全国より実力ある書道家を選んで委嘱しました。審査

中学生以下 A部門

文部科学大臣賞

川口市立安行東中3年 渡邊 佳奈(埼玉)

この度は、名誉ある賞を頂き大変嬉しく思います。『乾坤一擲』は部活の剣道でも繋がり、気持ちを込めて書くことができました。私は書くことが本当に大好きです。



乾坤一擲

素心をもち紙に向かった精神はのびやか柔軟かつ弾力ある線をつんでいる。筆の運びは悠々としてスケールが大きく、堂々として見事です。学びを重ねてきた努力が実り自信となっています。(高橋照弘)

ジュニア大賞

名古屋市立楠中3年 尾藤 ななみ(愛知)

今回のような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。今回このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。今回このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。



創意進歩

背筋がスッと伸びるようなあなたの特殊の線を、紙と筆と墨が見事に調和させた素晴らしい作品となりました。行書入門の呼吸が、高校での芸術書道の足がかりとなり、大きな飛躍を期待します。(眞田朱燕)

審査員特別賞

合志市立西合志南中3年 村上 望華(熊本)

この度は名誉ある賞を頂けたこと、大変嬉しく思います。指導していただいた先生や支えてくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、今後も努力を怠らず精進して参ります。



銀鱗躍動

筆鋒鋭く文字に迫力があります。銀色に輝く元気な魚が、今にも紙面から飛び出してきそうな躍動感が溢れています。審査員が絶賛した、すばらしい作品です。おめでとう。(小林紫雲)

東京都知事賞

都立両国高附属中2年 奥山 和奏(東京)

この度は素晴らしい賞を頂き、大変光栄です。学業と書道の両立は難しいですが、今後も更に上の賞を目指して努力を重ねていきたいと思います。



温故知新

気脈に神経を注ぎ、紙面いっぱいに書かれた草書で、強さと柔らかさを兼ね備えた線に魅力を感じます。名前の位置も絶妙です。見ていて胸のすくような見事な作品です。(影山瑞琴)

埼玉県知事賞

坂戸市立城山中3年 南沢 夏実(埼玉)

この度は、このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。大変嬉しく思います。この賞を励みにさらに上を目指して頑張っていきたいと思います。



温故知新

厚みのある線、タツプリ書けています。ハネ、ハラも正確で、美しく、柔らかな筆使いです。名前も本文に調和して丁寧に書けています。あたかも、見えないのあたりに仕掛けています。(大宮芳雨)

千葉県知事賞

柏市立豊四季中3年 河口 諒聖(千葉)

この度は、このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。この指導いただいた先生、支えてくれた家族に感謝しています。今後も更に努力を重ね、腕を磨いていきます。



伝統の継承

なんと！いつも力強さが印象に残ります。文字通り伝統的な書きぶりをしっかり自身のものとされており、安心して見れますね。筆がしっかりと立っているのも強い線質を生み出す要素なのでしょう。立派です。(中村雪穂)

神奈川県知事賞

横浜市立楠中3年 川井 夏海(神奈川)

この度は、このような素晴らしい賞を頂き光栄に思います。この指導いただいた先生に感謝し、今後も努力を重ねていきます。



温故知新

たゆまぬ努力の結果でしょうか。行書特有の柔らかさと強い線質表現の技術を駆使し、全体に気迫をみなぎらせた立派な作品になりました。中学生最後の有終の美を飾ることが出来た良かったです。おめでとう。(宮平翠玲)

審査員賞

市原市立八幡中3年 佐藤 葵千葉

この度は名誉ある賞を頂き、ありがとうございます。この指導いただいた先生にはとても感謝しています。これを励みにこれから努力していきます。



温故知新

字形が美しく見事。点画のつながりや終筆まで神経の通った、筆捌き絶妙の作です。千葉県知事賞の昨年も立派でしたが、一段と磨かれた作品に出会えて嬉しく感じました。今後が楽しみです。(眞口草川)

産経新聞社賞

浜松市立三方原小4年 一木 瑛哉(静岡)

この度は、産経新聞社という素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく思います。「花」のバランスが難しく何度も練習しました。これからも頑張る上での賞を目指して練習します。



花さく里

力強く、のびのびとした筆に仕上がっています。名前も最後まで丁寧に書けていて素晴らしいです。産経新聞社賞おめでとうございます。(星野葉柳)

産経国際書会理事長賞

糸満市立三和中1年 玉城 真生(沖縄)

今回初めての出品させていただきました。このような素晴らしい賞を頂けたこと大変嬉しく思います。支えてくれた家族、先生に感謝し、これからも精進して参ります。



墨妙筆精

力強い起筆と終筆、丁寧な一点一画をしっかりと筆使いで紙面いっぱいにバランスよく堂々と書かれ、学年及び名前も見事な、素晴らしい作品です。今後の成長が楽しみです。頑張ってください。(戸呂光岳)

産経国際書会理事賞

仙台市立仙台青陵中等教育学校2年 細川 季詩(宮城)

この度は、素晴らしい賞を頂き大変光栄に思います。八年間書を綴ってきたのは、この指導していただいた先生と一緒に学友のおかげです。今後も切磋琢磨し頑張りたいです。



温故知新

筆の書き込みを手に使い、線の太い部分と細い部分の差が良く出ています。また、次の画と続く部分のつながりの線も自然なつながりが出て素晴らしい行書です。今後も書道を続けてほしい。(関根史山)

思い出の母校にあなたのメッセージを...



産経新聞写真ニュースでは、産経子どもニュース「育て!子どもたち」を媒介として、各種キャンペーン活動をみなさまの協力のもと全国で展開しています。教育現場や地域社会への写真ニュースの掲示を通じて、豊かで潤いのある社会の創造に貢献し、次代を担う子どもたちを、皆様と共に育てていきたいと願います。この趣旨にご賛同いただき、協賛いただける方を広く募集しています。あなたのメッセージと共に思い出の母校に「育て!子どもたち」を寄贈してください。

◆媒体概要◆

【創刊】昭和54年6月18日
【発行】毎週木曜日(第三種郵便に送付)
【仕様】B4判・オールカラー・4シート1セットで発行(41週/年間164枚)【送付先】全国の小学校・中学校
【掲示方法】校内の掲示コーナーや図書室等に、専用の掲示板を設置し、そこへ学校の担当教諭や担当委員会の児童生徒が、掲示します。掲示期間は1週間、掲示後は専用ファイルへ綴じ、図書室等へ保管していただいています。

学校から“感謝の声”が
続々と届いています!!

協賛のお申込み・お問い合わせは産経新聞写真ニュース事業部まで
◆本 社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田小川町1-1 TEL.03(5259)8810

産経子どもニュース

産経子どもニュース「育て!子どもたち」では、キャンペーンに協賛していただける企業様はもちろんのこと、個人の皆様にも協賛を募っています。あなた様のお名前や1年間、母校や、ご指定された小学校あるいは中学校に「育て!子どもたち」を寄贈いたします。

メッセージ提供:(ご寄贈主名)

◆協賛金/1校・1年間 85,000円(税別)
掲示用バネル・保存用ファイル付

●「育て!子どもたち」は、下記ホームページでもご覧いただけます。
学習の副教材や写真ライブラリーとしてもご利用いただける内容です。

<http://www.sankeikids.com>

多彩なテーマ ◆学校便り ◆動物の親子・赤ちゃん ◆キャンペーン紙面 ◆ビジュアル社会科 他